

本誌は、県民の皆様に山梨県子ども読書支援センターのことをより深く知っていただくため、当センターの事業や活動内容について情報発信するものです。

>>1月～2月の子ども読書支援センター事業関連の問い合わせ件数

1月～2月に窓口または電話等で問い合わせのあった件数は次の通りです。

合計 66件 内訳 …1月:39件
2月:27件

>>平成24年度第5回子どもの読書活動推進スキルアップ講座(子どもと本を結ぶ・連続講座)を開催しました。

平成25年2月8日(金)、今年度最後のスキルアップ講座を開催しました。

「幼児の発達と物語」と題して山梨大学大学院の加藤繁美教授にご講義いただき、69名の方に参加していただきました。子どもの発達と物語の関係、発達段階による絵本の楽しみ方、児童文学での子どもの描かれ方等についてのお話で、子どもが物語を自分で創り出していくことが最も大切だということでした。参加者からは、「本も実体験も大切だと改めて感じた」「子どもにたくさん良い絵本を読んであげたい」等の感想が寄せられました。



>>子どもの発達に応じた読書プログラムの開発の一環として、読書へのアニメーション*を実施しました。

平成25年2月17日(日)、県内中学生14名に対し、読書へのアニメーションを実施しました。山梨県立図書館協力員と共に取り組んできた事業ですが、今年度は『カラフル』(森絵都著、理論社刊等)をテキストにして「自分たちで新たな書名を考える」という作戦でアニメーションを行いました。

前半、登場人物やあらすじを確認する時には皆緊張していましたが、書名を考える作業では内容をうまく表した独創的なタイトルをつけ、その理由もしっかり説明してくれました。

終了後、職員と協力員で反省会を開き、改善点や気付いた点について意見を出し合いました。詳しくはインターネット上に報告書を掲載したので、そちらもご覧ください。

(http://www.lib.pref.yamanashi.jp/kodomo_shien/program.html)

*読書へのアニメーション…ゲーム感覚で楽しく皆で本を読み本への理解を深める読書方法



>>県立図書館の職場見学

1～2月の幼稚園や保育所、学校等の見学申込数は21件でした。

「館内の説明をしてほしい」「見学中に読み聞かせをしてほしい」等、ご要望があればご相談に応じます。詳しくは子ども読書支援センター(代表電話:055-255-1040)にお問い合わせください。

山梨県立図書館ホームページ内、子ども読書支援センターのページにある職場見学の項目から、申込書等をダウンロードすることができます。そちらもご覧ください。

(http://www.lib.pref.yamanashi.jp/kodomo_shien/syokuba_taiken.html)